

平成16年

No.226

波紋



2004 4月

PUBUSHER : 森松株式会社 EDITOR : 梅田文康

研修生紹介

請多関照!



よろしくお願ひします!

呉 強 (Wu Qiang)

蒋能文 (Jiang NengWen)

みなさんパンダをよくご存知ですよ。私はそのパンダの故郷四川省から来ました呉強 (Wu Qiang)と申します。小呉(シアオ・ウー)と呼んでください。

この豊かな日本へやってきたのは初めてです。何から何まで新鮮です。日本語もまだまだですが、7月までの半年間を森松大学で勉強することになりました。森松へ来た目的は、森松の進んだ管理理念を学ぶこと、日本人の仕事への態度を学ぶこと、私たちの義信会社に欠けている経験を積むことなどです。



よろしくお願ひします!

2月3日に6ヶ月の予定で森松大学へやってきたばかりの蒋能文です。日本で研修をするのはとても得がたいチャンスですから、森会長やみなさんのご指導のもと、粉骨惜しんで研修したいと思います。森松の先進的管理や技術をマスターして四川へ戻り、四川義信会社の発展に寄与したいと願っています。

日本に来るのは始めてですから、まだ言葉も礼儀も知りません。失礼なことをしてしまうこともあるかと思いますが、そこはどうか許してください。

よろしくお願ひします!



「時間の活用」

社長 森直樹



つづく時間が大切だと感じます。誰にでも平等に一日24時間。どれだけ無駄をゼロに近づけるかが出来るかが、限られた時間を有効に使う手段です。ひとつの伝票発行に用紙のセツトを間違えた、入力を間違えた等のミスで再発行しても、売上金額は増えません。逆にその再発行の手間や他の処理が遅れることとなります。ではどうすればセツトを間違えないか、入力間違いを防ぐことが出来るか、またさらには配送の送り状から納品書まで「打たず」に受注データから自動で発行できないか、など無駄を減らす、「楽をする」ことに業務率アップの時間が空く。新たな仕事の発掘。利益アップのネタが眠っていると言えましょう。また常に今の方法が最良ではない、と疑うことが必要です。これまで自分自身が手を動かしてきたことでも、果たして自分で行う必要があるのか、それとも人に代行してもらったほうが良いのか。行くべきことと行う必要の無いことの振り分けも常に気を使っています。

また時間を節約し、生まれた新たな時間の使い方として、発想の元となる時間にあてることがどうでしょう。仕事に必要な新しい発想は、勤務時間中に浮かんでくるものでしょうか。日中仕事に忙殺されている間に、次の展開をじっくり考えることは難しいと思います。むしろ会社を離れている間に、それこそゆつくり風呂に入っている間に、ふとしたことで気になっていた問題の解決の糸口が出てくるかもしれません。つまり仕事を休む上で、自分の趣味の活動をする、どこかに出かけたりする、友人に会う、など違う刺激を得る「時間」を作る上でも時間の使い方は大変重要だと思います。

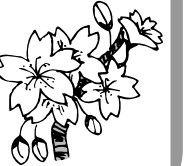
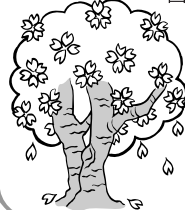
これら時間の使い方、突き詰めて考えてもキリが無いですが「時間の無駄」にならない程度に考えていきたいと思ひます。

naoki@morimatsu.net

2004年 4月

の予定

29日 (木)	27日 (火)	26日 (月)	24日 (土)	23日 (金)	17日 (土)	15日 (木)	14日 (水)	12日 (月)	8日 (木)	5日 (月)	4日 (日)	3日 (土)
みどりの日	三浦さん誕生日	生産会議	編集会議	営業会議	土曜休み	森 ちかさん誕生日	伊東さん誕生日	土田さん誕生日	明和グループ50周年記念式典	誕生会	森下さん誕生日	土曜休み
		18時~	17時~	8時30分~9時	7時30分~8時20分					12時~		



第3回 タイムマシーン

このコーナーは、時代を遡って、かつての波紋の紙面へタイムスリップするという企画です。

波紋

1990 7 第61号



新社屋完成!!

かねてより南丹丹後地方に建設中の新社屋工事場が、このほど完成し、六月二十五日より稼働開始の運びとなりました。企画設計を始めたのが三年前、やっとこの建物が出来上がりました。これほどに皆様のご協力とご支援のおかげと感謝しております。社員の皆さんから色々と意見・アイデア・感性を提案してもらい出来上りました。一〇〇%の満足度で満足していただいております。建設会社の入社はもちろん、社外の多くの人のご指図にも感謝申し上げます。社員も私も同様に人のつながりを感じたことがありま

今回は、1990年7月号の1面、記念すべき新社屋完成の記事をご紹介します。

編集後記

三寒四温の時期も終わりを告げ、といつも朝晩はまだ寒い時もあります。春の到来を日々実感しています。

まだまだ寒かった3月のある週末、祖母と二人きりで祖父の故郷へお墓参りの旅をしました。82歳ながらも足腰の丈夫な祖母とゆく、電車とバスを乗り継ぎ、愛知県新城市の近くにある大石という田舎への旅は、色々な発見の連続でした。祖母から語られる物語と大石の静かな風景は、私がいま直面している現実とは違う世界を見せてくれたような気がします。粉雪が強風に舞うなか、急な斜面にひっそりとある祖父のお墓を祖母とともに掃除したことが、とても印象に残っています。有意義に過ごす週末の大切さをあらたに感じた旅でした。

来週はどこへ行くのか、来年の今ごろは何をしようかと考えるのが楽しみな、今日この頃です。

飯田奈都子

(二丁)



サークル紹介 レインボーⅢ

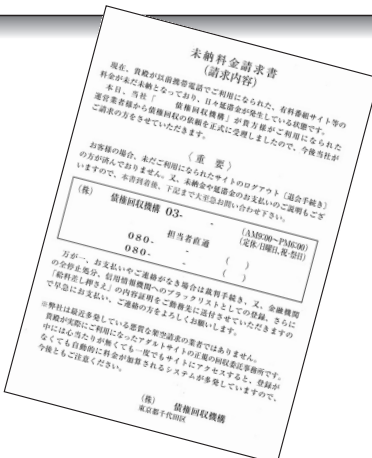
私たち「レインボーⅢ」は、明るく元気に頑張っています。

これからも営業とアシスタントで協力し合って頑張っていきたいと思います。



左から
加藤、長崎、小坂、吉岡、岩間

製造事務所入口の
インターホンで
お呼びください。



先日、19歳の息子宛に債権回収機構というところから、携帯電話のデジタルサイト利用料の未納料金請求書なるものが届きました。サイトの名前、利用日、料金等の詳細が一切無く、電話番号（電話代行業？）と担当者2名の携帯番号が記されていて、とにかく連絡をくれとの内容でした。ご丁寧に「架空請求ではありません」とまで書いています。無視はしていますが何とも嫌な気分にはさせられません。森松社内でも携帯メールや書面等で架空請求が送られてきた人がいると思いますが、相手にせず無視することが一番です。間違っても連絡するこの無いようにしましょう。

「架空請求」

岩間正美（レインボーⅢ）



「気候と性格」

森 信之



中国研修生が来社して約2ヶ月、彼ら2人は、毎日私達に「3つの質問」をします。その一部を紹介します。「名古屋の人口は200万人と聞いたが、昼間はあまり人を見かけない。どこで何してるのか？」四川省成都市では昼間も人はたくさん見かけるし、ブラブラしてる人が多い、レジャー施設が少なく、24時間工場は稼働してるので、夜勤の人は昼間遊ぶ。自家用車を持つ人は少ないので遠出はしない。森松工場内で、「フォークリフトに鍵が付けっぱなしで皆が勝手に乗っているが、誰が管理しているのか？また従業員、パートさんが包装資材、原料を自由に持ち出ししているが大丈夫ですか？なぜ、なぜ、なぜ、管理人を置かないのか？」四川義信文化用品公司では倉庫・金型置き場・資材置き場の入り口には必ず管理人が座っている。「湯沸し場の、お茶・コーヒーを誰でも自由に飲んでいるが、誰が管理しているのか？（どうやって管理しているのか？）中国では各自、自分の飲み物は自分で持参する習慣です、会社でお湯をもらう。「名古屋の天気は午後急に雨になることがあるがなぜですか？」と聞かれた時は初め質問の意味が分からなかった。日本では朝に雨が降っても午後には晴れることはよくある事で一般的な事、しかしこれらの常識では、天気が急に変わることが珍しい事なのだ。四川義信文化用品公司は四川省の四川盆地にある。盆地と言っても日本列島がスッポリ全部入ってしまう大きさなのです。四季はあるが一日でイロイロ変わることはないので。数日単位で天気が変わるようです。年中常夏の国もあり、秋と冬しかない地方もある。穏やかな気候、厳しい気候、豊かな土地、作物が取れない土地、人間の性格を形成するには、気候が大きな要素を占めるのではないかと思いました。四季のハッキリした水の豊かな、素晴らしい土に生まれる事が出来て幸せを感じます。

「82歳の女優魂とは」

吉岡孝記（レインボーⅢ）



先日、テレビ番組で森光子さんの「放浪記」主演1700回公演の特番を見たのですが、御歳83才と言う高齢でよく1700回も続けられたものと感心するばかりでした。13歳でデビューを飾り女優生活70年だそうで、脇役ばかりの女優生活だったのが、41歳にして「放浪記」の初主演に抜擢されたそうで、思い入れも格別な作品だと思えます。なぜこんなに長い間公演を続けられるのか・・・それは絶え間ない努力の賜物でした。83歳にして朝と夜ヒンズースクワットを75回やり、またトレーナーの指導のもと、毎日ようにトレーニングをしているそうです。私には出来ない、ホントにすごい事です。公演が終わると台本を全て忘れるそうです。新たな公演の練習時にはまた、自分自身で台本を書き直しから覚え直すそうです。そうする事により、新たな気持ちで取り込めるとの事でした。これが女優魂でしょうか。また、森光子さんはここまで続けられたのもお客様のおかげだ、と感謝の気持ちもいつも忘れないそうです。頭が下がる思いでした。私の仕事に置き換えて考えると、共演者は同僚であり仕入れ先様であり、そして彼らと協力して少しでもたくさんのお客様の喜でいただけるような仕事を少しでも長くやる事かな、と感じました。入社18年あと52年はちょっと無理かな。でもまだ頑張りますよ！

「11107.06」

大橋康成（GMエキスパート）



二年ほど前からミニロト・ロト6にはまり毎週買っています。ミニロトは、毎週火曜日発売、ロト6は、毎週木曜日発売です。ミニロトは、1〜31までの数字を5個選んで当てる、ロト6は、1〜43までの数字を6個選んで当てるというものです。予想雑誌・予想ソフトなどで予想する。最近よく出る数字を元にデーターを取り予想する。予想回数第1数字、第2数字のそれぞれ奇数、偶数予想や個々のデーターを元に10個前後の候補数字を予想する。予想結果はあまりよくありません。よく当たって最高ロト6で4等、ミニロトも4等止まりです。週にミニロト・ロト6を千円ずつ買うとして52週で約十万投資。必ず当てろト6で一等賞。買わなきゃ当たらないよ！！

